

## 二ツ森 平成28年度事業概況

### 特別養護老人ホーム

空床時、早期入所できる体制づくりとして開設後初めて、瀬戸の里と合同で入所申込者要介護度3以上396名を対象に実態把握調査を実施。死亡者、他の特養への入所、取り下げ、住所不明で戻り、家族住所不明で送れず、合計197名。入所希望者199名と把握しましたが、年間目標利用率97.5%以上に対し、97.07%で目標達成できず資料を活かすことができませんでした。

平成25年～平成28年の死亡者年平均14名に対し、事前に入所希望者把握指示をしなかったことが要因です。

各ユニットでご利用者様の人格を尊重した対応、各ボランティアによる催しやレクリエーション、調理、交流会で笑あり感激の涙ありと生きがいの持てる内容を工夫し落ち着いて生活していただきました。

健康管理面ではインフルエンザの予防接種の実施やノロウィルス等の感染症予防のための措置を施設一体となって取組み、発生はありませんでした。

地域交流では、福岡保育園年長組、福岡中学校1年生との交流会をおこないました。

施設での看取り介護が普通となり、精神的負担はありますが従業員一致団結してよりよいサービス提供に努めてきました。

### ショートステイ

年間目標利用率75%以上、新規獲得を目標としてきましたが、利用率66.62%で目標達成できませんでした。冬季間は老人保健施設への長期入所もあり、また、利用者、家族の利用要望は土曜日、日曜日、地区の行事、農繁期に多く平日は少なくなり、ベットの空状況による利用ではなく家族、利用者の希望が優先となり、利用状況に変化が出てきました。

各居宅事業所に空床情報を積極的に提供しなかったこと、定期的に営業活動ができていなかったことが挙げられます。

## 二ツ森 平成28年度事業概況

### デイサービスセンター

年間目標利用率90%以上、新規獲得、キャンセル時の代替え利用の獲得を目標としてきましたが、利用率83.46%と低下しました。原因として、新規ご利用者様、リピーターの方が入院や老健・グループホームへ長期入所（計5名）のため定期的に安定した利用に繋がりませんでした。

直接処遇に追われ、新規の獲得のため居宅介護支援事業所への営業や宣伝、空情報提供が昨年と比較して少なく、また、空のある曜日の利用希望者には積極的に声かけて利用に繋がりましたが目標を達成する事ができませんでした。

平成28年4月から小規模通所介護から地域密着型通所介護に移管、平成28年度中に2回運営推進会議を開催し、地域の方、ご家族様から「デイサービスに行くことが唯一の楽しみ。デイサービスに看護職員がいるので安心して預けられる。」「松尾地区内走行速度は40km以下を守ってください。」「福岡産業祭に多くの作品出展をおねがいします。」のご意見、ご要望をいただきました。

施設内における、体操、ゲーム等で転倒予防を意識して下肢筋力の維持向上に努めご自宅でも安全に取り組めるよう働きかけました。

### 居宅介護支援センター

平成28年度も一人体制でしたが、居宅介護支援事業を適正に行い、引き続き介護予防サービスの受け入れも積極的に行いました。

昨年同様に、ご利用者様、ご家族様のニーズに添えるように、行政、医療、各サービス提供事業所、地域包括支援センターと連携を図り対応しました。

今年度は未利用のお客様が介護サービスを利用され、また、新規での受け入れ件数も増えた事により収入は増加となりました。

登録者 46名（ご利用者様38名 平成29年3月31日現在）

新規 15名 中止10名（他界8名、居宅変更1名、老健長期入所1名）